

令和5年度 環境で地域を元気にする
地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業
キックオフミーティング 配布資料

活動団体名：株式会社 山都竹琉

活動地域：山都町

活動におけるテーマ

『永代不朽のまちづくり：チリも積もれば山都なる！』

本事業への関わり：2年目

活動団体と地域の紹介

(株)山都竹琉について

竹資源活用を永年推進



竹粉碎機



竹エキスドローン散布



山都町について

- 九州のど真ん中の中山間準高冷地、総面積の7割が山林・原野、田・畑2割。
- 人口1万4千人、過疎化が進む農業と林業が基幹産業の典型的な中山間地域。
- 40年以上にわたり有機農業に取り組む地域、有機農業No. 1 (有機JAS事業者数)
- 棚田百選2カ所選定



基幹産業は農林業

「有機農業を核とした持続可能なまちづくり」
山都町が令和3年度のSDGs未来都市に選定

今後、地域を維持するためには基幹産業である第一次産業の維持、発展が必須

地域の「ありたい未来」を実現するために何をするか

地域のありたい未来

豊かな自然、文化資本を「経済資本」へ転換する永代不朽のまち

地域のありたい未来を実現するために、中長期的に見て必要な取組や仕組みは何か

①自治体連携PF（プラットフォーム）運営体制構築（地域内のコミュニケーションや連携不足解消）

・PF（プラットフォーム）を通じて、地域で支える仕組み・場づくりを行う。

②SDGs研修/地域の資源活用・課題解決

・事業化（収益が上がり持続可能な）の仕組み、実装ラボやテスト（バイオガス等）

③一次産業活性化/担い手と関係人口の同時拡大

・労働需要が不安定（季節限定）→マッチングの仕組みを整備（特定事業組合）

・企業との協働（テレワーク・兼業・副業・プロボノ・研修）

・有機農業を志す若者・移住者が増加傾向にあるため、スマート有機農業による高付加価値型農業への転換を図り、仲間を増やす。

今年度取り組みたい事（本事業でチャレンジしたい事）

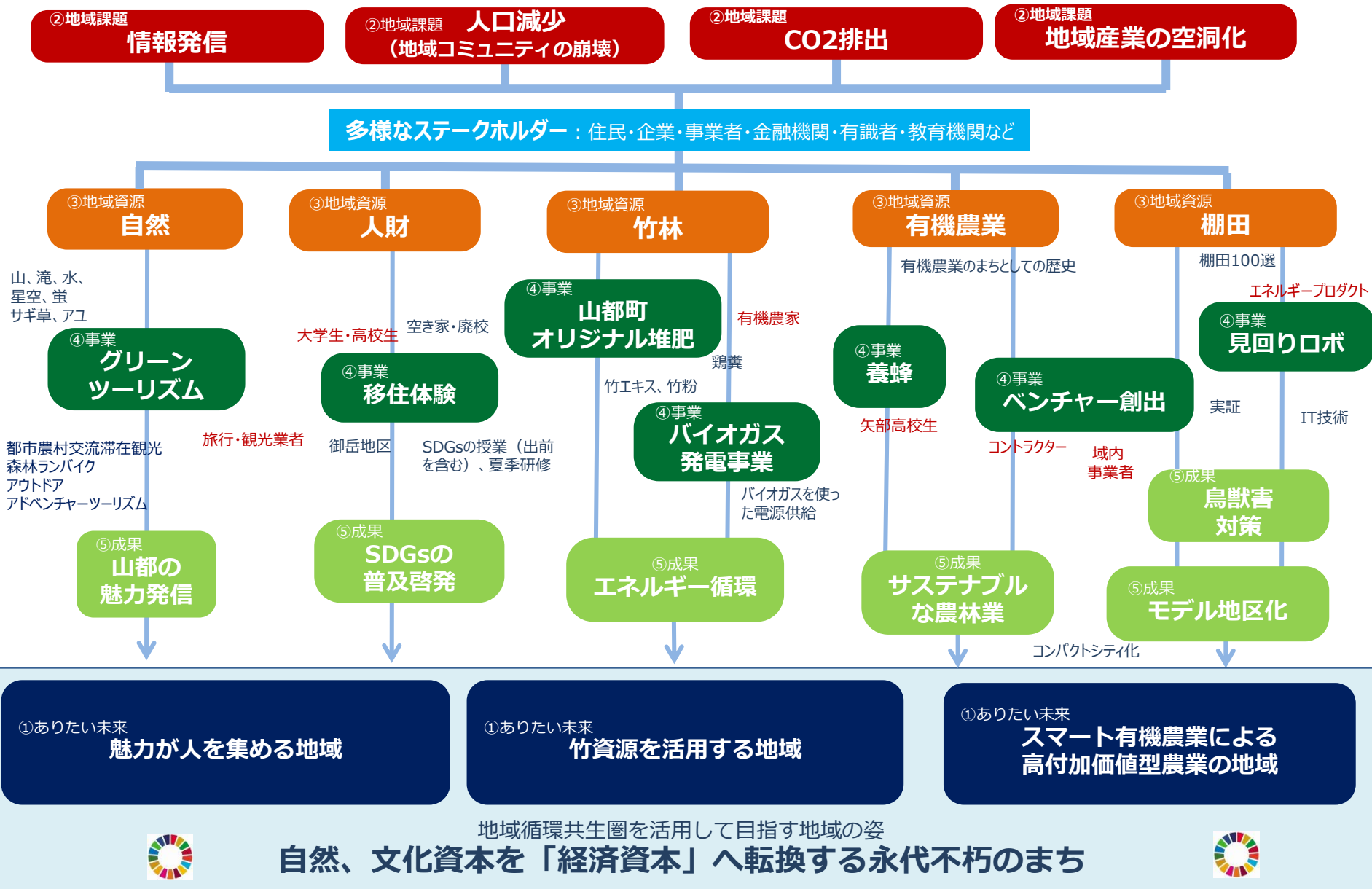
・地域づくり事業組合設立に向けた準備

・地域資源の掘り下げ、磨き上げ（バイオマス発電に向けた基礎調査）

・Made in Yamatoの肥料や堆肥（竹資材：固形・液状）、持続可能な農業へ

・地域内外のネットワークの強化（周辺市町村：玉名市・和水町との広域連携・異分野との連携）

現時点の地域版マンダラ



活動計画（概要）

地域プラットフォームを形成して 解決したい地域の課題

- ・里山・農村景観の維持（遊休農林地解消）
- ・鳥獣被害増（放置竹林が住処）
- ・人口減少・少子高齢化の進行
- ・町外への資金・労働力流出
- ・農林業の経営安定化
- ・地域内でのコミュニケーション、連携不足

上記を地域で支える仕組みづくり（プラットフォーム）

地域のありたい未来

- ・厄介者の竹（チリ）資源利活用を通して、有機農業を志す若者・移住者等の農業者への普及啓発
- ・有機農業の営みを通して、豊かな自然、文化資本を「経済資本」へ転換
- ・地域住民の支えあいや創意と団結で将来への橋渡しをする永代不朽のまちづくり
「チリ（竹）も積もれば山都なる！」

環境整備を通して構築する“地域プラットフォーム”のイメージ（体制、機能、規模感、等）

- ・運営主体/地域のコーディネート：【山都竹琉】
- ・事業推進（竹粉利用及び食育推進等）：【山都でしか】
- ・プラットフォーム運営支援：【地方経済総合研究所】



- ・山都竹林整備の会
- ・山都町役場、矢部高校
- ・集落営農法人
- ・エネルギープロダクト(株)

想定している資源（ヒト、モノ、資金、情報、等）※地域内、外も含む

- ・地域資源1：有機農業者（ヒト）
➢有機農業を志す若者・移住者が増加傾向にあるため、地域内で調達可能な竹堆肥の利活用を推進し、スマート有機農業による高付加価値型農業への転換を図り、仲間を増やす。
- ・地域資源2：竹（モノ）
➢地域内の養鶏農家や有機農家とコラボする竹を活用した竹資源利活用資材（堆肥：固形・液状）
- ・地域資源3：棚田・里山・竹林（カネ・資産：農村景観保全）
➢放棄竹林・農地の解消、中山間地域の里山機能や里山の生物多様性及び治水機能を維持する。

目指す“地域プラットフォーム”のイメージ

2023年3月 1年後の地域プラットフォームのイメージ

- ・地域の資源を活用する持続可能な取組を通じて、町全体に広げるサイクルの構築
- ・**地域の資源活用・課題解決**：地域で支える仕組み・場づくり・実装ラボ・事業化
- ・**SDGs研修**：SDGsや有機農業に関する町民向けワークショップや県内大学生向けの研修を実施。



←新たに^{ステークホルダー}加わってほしいSH

- ・住民
- ・商工会
- ・畜産農家
- ・移住希望者

←想定している課題・阻害要因

●**情報発信の仕組み・方法**
対外的に発信するべき取組を広く知ってもらえるか。

●**地域を持続させるための人材の確保と、その人材に知恵や技術を伝える場**

新たな事業のタネ創出のために、より多くの事業者「つなぐ場」に参加してもらえるかどうか。

年間スケジュール

